

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612

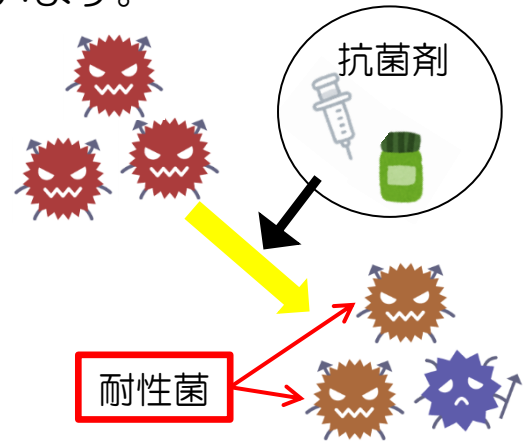


## 抗菌剤は適切に使用しましょう！！

現在、世界的に、薬剤耐性菌による感染症が増加しており、大きな問題となっています。日本でも薬剤耐性（AMR）アクションプランが決定され、薬剤耐性菌への対策に取り組んでいます。

### 薬剤耐性菌とは

抗菌剤が効かない細菌のことであり、抗菌剤を過度に使用すると、その抗菌剤の耐性菌が増加し、人や動物の治療が困難になります。



### AMRアクションプラン（※1）

畜産分野においては、抗菌剤は動物用医薬品や飼料添加物として使用されています。家畜で増加した耐性菌は、家畜の治療を困難にするだけでなく、畜産物等を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。そのため、畜産関係者の皆様には、薬剤耐性菌を増加させないために

「抗菌剤の慎重使用」を実施することが求められます。

※1:AMRアクションプランの詳細については厚生労働省HPを参照ください。

### 慎重使用の取組

- ①飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、感染症の発症を予防する。
- ②原因菌の特定や、薬剤感受性試験などにより耐性菌の状況を把握し、有効な薬剤を選択する。
- ③第二次選択薬（※2）を最初の治療から使用するのは避ける。

※2:疾患に対する治療薬のうち、最初に投与すべき薬剤を第一次選択薬といいます。それに対し、第一次選択薬で効果がみられなかった場合にのみ投与すべき薬剤を第二次選択薬といいます。

国産畜産物に対する消費者からの信頼に答えるため、また、家畜に対する抗菌剤の有効性を維持するためには、畜産関係者が一体となって対策に取り組む必要があります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



# 薬剤耐性に係るアンケート調査について

○中央畜産会では、家畜（牛、豚及び鶏）の飼養者及び産業動物臨床獣医師を対象として、薬剤耐性に関する認知度を把握・検証するためにアンケート調査を実施しております。  
○5分程度で回答が可能な簡単なアンケートですので、是非とも御協力をよろしくお願い致します。

以下のウェブページかQRコードよりアクセスし、質問事項に回答してください。  
調査期間：10月20日（金）まで

## 家畜の飼養者用

<https://rdc.dstyleweb.com/jhcx/wy4c38/>



## 産業動物臨床獣医師用

<https://rdc.dstyleweb.com/a4kx/3kjf8x/>



## 近隣諸国における悪性家畜伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	モンゴル	4月22日～9月6日	牛、山羊、羊	O型
アフリカ豚コレラ	欧州・ロシア等	2007年以降～（継続発生） 6月10日～9月21日（直近発生）	豚・いのしし	
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	8月21日	地鶏	H5N2
		8月23日	家さん	
	中国	9月1日	地鶏	H5N8
		8月1日	家さん	H5N1
		8月10日	うずら	H5N6

平成29年10月1日時点

## 毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

